

平成 29 年度情報工学部 教育業績賞受賞者報告会を開催しました

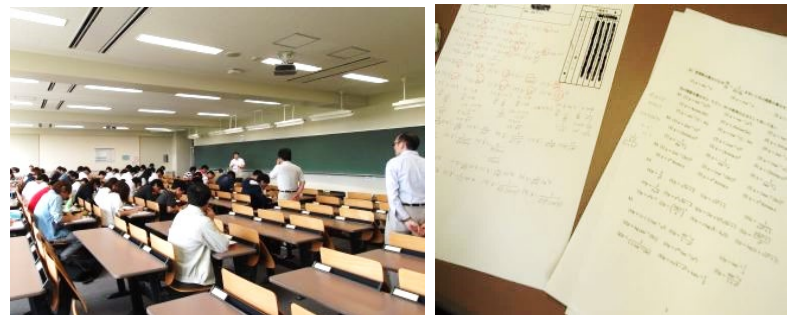
教育業績賞とは、本学のモットーである「一人ひとりに丁寧な教育」を維持発展させるために、情報工学部の各学科において、明らかに教育改善に貢献した 1 名を教育業績評価優秀者とみなし、表彰するものです。
 平成 29 年度の教育業績賞受賞者 4 名（情報工学科 松尾一壽教授・情報通信工学科 中嶋徳正教授・情報システム工学科 菊田俊幸助教・システムマネジメント学科 傳靖助教）のうち、2 名の報告会が下記の通り開催されました。

受賞者：情報工学部 情報システム工学科 菊田 俊幸助教
 公開講義（科目名）：「解析 I」（A クラス）
 日時：2018 年 6 月 7 日（木）4 時限目（14:40～16:10）
 場所：B 棟 3 階 B32 講義室
 参加者：教員 5 名、職員 1 名



情報システム工学科 菊田俊幸 助教

本講義は、関数とは何かを理解し、実際に指数関数、対数関数、三角関数、逆三角関数などの初等関数を扱うもので、当日は、「逆関数の微分の公式と逆三角関数の微分」をテーマに、演習時間に重点を置いた構成で授業が進められました。授業は、口頭での説明と板書を中心に進められましたが、関数のグラフなど、板書の一部を受講生自身が考えてノートに書き込んだり、練習問題の時間を設け、講義内容の理解度を確認する作業も行われました。また、練習問題は挙手をした学生が板書をし、全体に解説が行われるなど、積極的な学生が発表できる機会も設けられていました。意見交換会では、受講生が集中力を保つための工夫として、講義の構成にメリハリを付ける、話す量・書く量を意識的に少なくする、連続して長く話さない、板書の一部を学生自身が考えて書くなどの作業を取り入れる、などの紹介があり、講義と演習から成る授業の運営方法について、意見交換や情報共有をする貴重な場となりました。



情報通信工学科 中嶋徳正 教授

受賞者：情報工学部 情報通信工学科 中嶋 徳正 教授
 演 題：「電気通信系難関国家資格取得への取り組み」
 日 時：2018 年 6 月 20 日（水）16:00～16:40
 場 所：E 棟 2 階 会議室 3
 参加者：教員 28 名、職員 4 名

情報通信工学科の資格取得への取組の中で、中嶋教授は、資格をきっかけに学生が電波や無線通信に興味を持つことや、中位や最下位レベルの資格取得に留まらず、ワンランク上を目指し努力をして上位資格を取得することで実力を付けるという効果を期待して、H26 年度末以降、「2or3 年次の 1 月期国家試験にて一発合格！」を目標に、第 1 級陸上無線技術士（1 陸技）取得支援体制の整備を進めてこられたことの報告がありました。支援体制として、時間外講座の刷新・充実、受験費用の一部補助、専門 5 科目について、講義内容を 1 陸技国家試験問題を意識したものへの見直し等、具体的な取組事例が報告されました。また取組の結果、1 陸技の取得状況が V 字回復を見せ、H27 年度 2 名、H28 年度 5 名、H29 年度 4 名、H30 年度 2+a 名の合格者を輩出したことや、大学院進学や就職における実績が報告された他、今後の課題が示されました。



※本件の詳細は
<http://www.fit.ac.jp/sogo/kyouiku/fd/weblog/archives/2765>
<http://www.fit.ac.jp/sogo/kyouiku/fd/weblog/archives/2781> をご参照ください。

掲示期間 H-30-076
 7 月 09 日～7 月 27 日

この件のお問い合わせは広報課へ